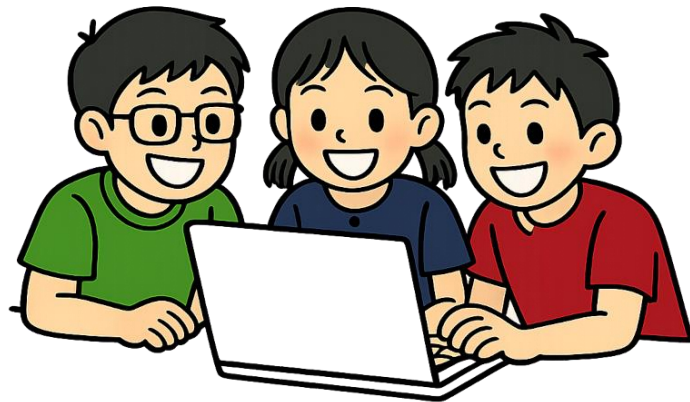


令和7年度実施事業公開報告会

プログラミングで広がる未来を
すべての子どもたちへ



2026.5.30

かまくらキッズプログラミング

かまくらキッズプログラミングとは

プログラミングに興味をもっていても経済的な事情で民間の教室へ通えない子供たちに学びの楽しさと可能性を広げることを目指した学習支援活動です。

子どもの貧困は、たんにスタート地点が異なるだけで教育格差につながったり、将来の選択肢が狭められることもあり、社会・地域全体で取り組むべき課題です。

主に経済的事情でプログラミングを学べない子供たちが対象
参加枠に余裕がある場合はどなたでも参加できます。

つまり → ごはんの出ない「子ども食堂」

団体について（KKP）

代表 秋山健太郎

鎌倉シチズンネット 小学生向けプログラミング教室
高齢者向けスマホ教室、放課後かまくらっ子等の指導
カマクラビットラボ ものづくりプログラミング指導

副代表 下田 真二

Myms-tech Coderdojo大船 共同チャンピオン

監査役 小林勇輔

神山まるごと高専講師 株式会社どこがく代表取締役

かまくらキッズプログラミング

活動内容

大船のコワーキングスペース「どこがく」で、「考えること」よりも「感じること」優先し、プログラミングの基本を学び楽しみます。

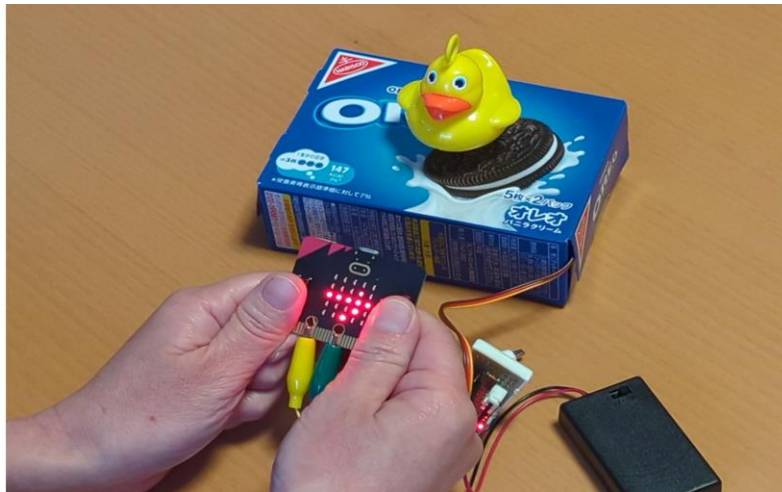


かまくらキッズプログラミング

活動内容

パソコンの中で遊ぼう

子供向けプログラミングツール
Scratchを使って簡単なゲームを
つくります。



パソコンから飛び出そう

micro:bitというシングルボードコン
ピュータを使って工作物を光らせたり、
動かしたりします。

エール事業への参加について

■応募目的

- ・ 学習機材としてパソコンの充実化を図る必要があったため
- ・ 活動を知ってもらおう足がかりにしたい

■実施内容

夏コース（8月～11月）参加者4名。 冬コース（12月～3月）参加者1名。現在開催中春コース（4月～7月）3名。

■収支

- ・ 事業費 ¥122,000
- ・ 収入 (補助金、賛助金)
- ・ 支出 (パソコン購入、印刷代、交通費など)

エール事業に参加して

■成果

これから注目されていくであろう、フィジカルコンピューティングの一端を少しでも実感してもらえたこと。

■課題

この取り組みを多くの人に知ってもらうことの難しさを痛感した。

■今後の展望

各コースで学んだ子供たちが、自習的に学べる機会を増やしていきたい。

かまくらキッズプログラミング